

2013年3月期 決算説明会

株式会社 安永

証券コード: 7271

2013年6月5日



将来見通しに関する注意事項



本資料に記述している業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。

そのため、様々な要因によって、実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては、上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で、行われるようお願い致します。

本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願い致します。

- 13年3月期決算トピックス
- 事業概要
- 13年3月期決算概要
- 14年3月期業績予想
- 中期経営計画の取組み



13年3月期決算トピックス 減収赤字



エンジン部品事業は増収増益であった一方、機械装置事業において、太陽電池関連ワイヤソーの滞留在庫を今後の販売状況等を踏まえ全額棚卸資産評価損として11億23百万円を売上原価に計上した結果、赤字決算となりました。

(単位:百万円)	12年3月期 実績	13年3月期			対前年 増減額
		上期	下期	通期	
売上高	36,314	16,887	17,079	33,966	△ 2,347
営業利益 (対売上比)	1,175 (3.2%)	329 (1.9%)	△ 661 (△3.9%)	△ 332 (△1.0%)	△ 1,507
経常利益 (対売上比)	1,055 (2.9%)	299 (1.8%)	△ 574 (△3.4%)	△ 275 (△0.8%)	△ 1,331
当期純利益 (対売上比)	882 (2.4%)	△ 117 (△0.7%)	△ 407 (△2.4%)	△ 524 (△1.5%)	△ 1,406

基本戦略

1. グローバルニッチNo.1

- 地域、顧客、製品での「グローバルニッチNo.1」を積み重ね、企業価値の向上
- 新興国市場の成長性を考え、海外生産拠点である中国、韓国、インドネシアの拡充

2. 新事業の創出

- 新しい事業創出のための研究開発を強かに推進

3. 財務体質の強化

- 「自己資本比率」と「ROE」の向上

1.GM「サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」 3年連続受賞

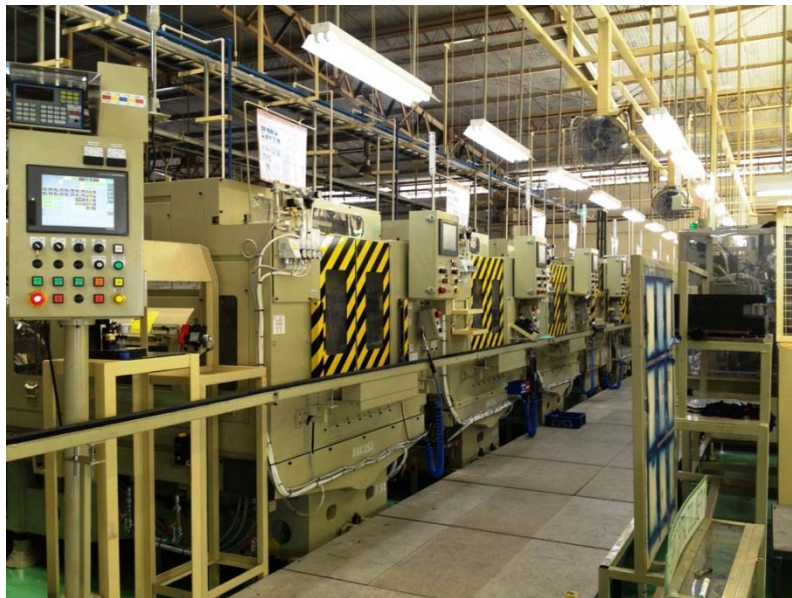
米ゼネラル・モーターズ社から、「品質」「納期」の両面で「安定」「信頼」の評価をいただき、「2012年サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。
全世界約2万社のサプライヤーから、83社が選ばれました。



2.インドネシア

インドネシアの自動車市場拡大に伴い、日系自動車メーカーの受注増加に対応すべく、インドネシア子会社でコンロッドの生産ラインを1本追加し、2013年3月より量産稼働。

現在10ラインで生産能力月産56万本



工場外観

3. 韓国

韓国子会社において、韓国自動車メーカーからのクランクシャフトの移管が決定し、今夏からの稼働、生産開始に向けて、ライン整備中



ライン全体前からの風景



工場外観

4. タイ

グローバル展開の一環として、東南アジアにおける自動車産業の主要地域である**タイに生産子会社を設立**し、自動車メーカーとの更なる取引拡大を目指す。エンジン部品の海外生産拠点としては、インドネシア、韓国に次ぐ3拠点目。

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 名称 | YASUNAGA (THAILAND) CO., LTD. |
| (2) 所在地 | タイ王国 ラヨン県 アマタシティ工業団地内 |
| (3) 資本金 | 2.5億バーツ |
| (4) 設立年月 | 2012年12月12日 |
| (5) 敷地面積 | 約30,400m ² |
| (6) 建設着工 | 2013年4月 |
| (7) 工場竣工 | 2014年2月 |
| (8) 操業 | 2014年夏頃 |
| (9) 生産品目 | コネクティングロッド |



バンコクより120キロ
車で1.5時間



5. エンジン部品新規受注案件

製品名	概要	生産拠点	量産開始時期
クランクシャフト	韓国自動車メーカーからのライン移管	韓国工場	2013年夏頃～
コンロッド	北米自動車メーカーからの新規受注 韓国、欧州、北米、南米の各生産拠点に納入	韓国工場	2014年秋頃～
カムシャフト	北米自動車メーカーから新モデル受注 素材に加え社内加工ラインを構築中 試作開始 2013年夏頃～	国内工場	2014年冬頃～
コンロッド	日系自動車メーカーからの新規受注	タイ工場	2014年冬頃～

6. 二次電池市場に進出

昨年12月に新製品「穴あき突起集電箔加工・塗工・乾燥装置」を発表し、
2月27日～3月1日に開催した「スマートエネルギーWEEK 2013」
第4回国際二次電池展に出展



- 13年3月期決算トピックス
- **事業概要**
- 13年3月期決算概要
- 14年3月期業績予想
- 中期経営計画の取組み



事業概要

2013年3月期売上高構成(連結)



ワイヤソー



検査測定装置



工作機械



エアーポンプ



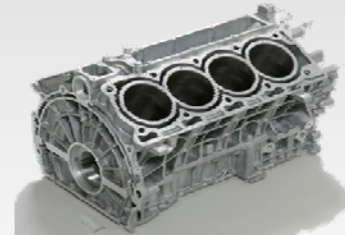
ディスクポータ



コネクティングロッド
(コンロッド)



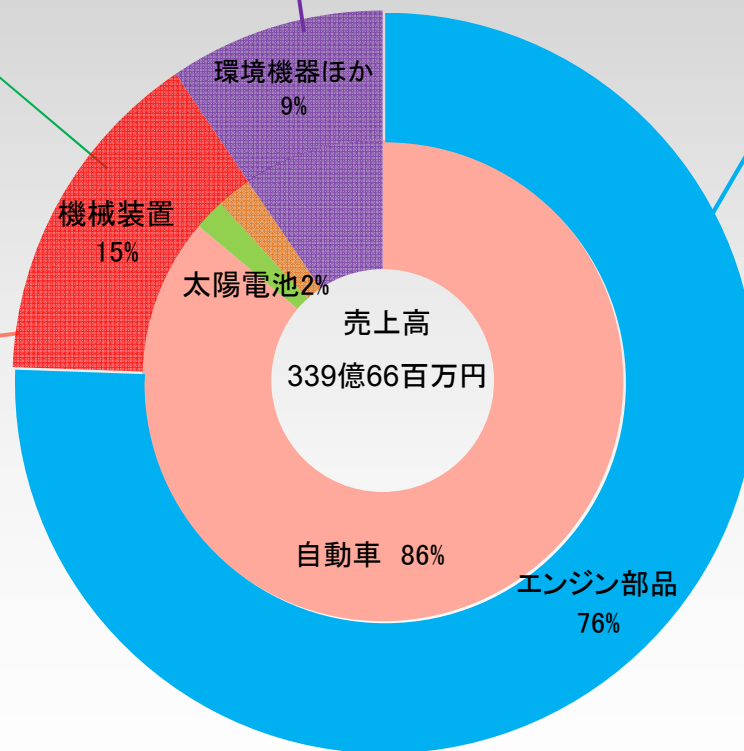
シリンダーヘッド



シリンダーブロック



カムシャフト



当社の事業領域 エンジン部品事業



(%)はエンジン部品
製品別売上比率
【12年3月→13年3月】

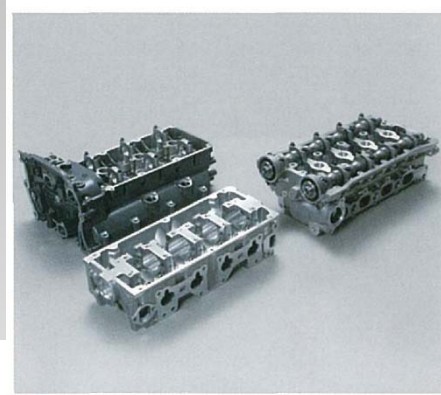
コンロッド、ヘッド、ブロック、カムシャフトで全体の約9割を占める

自動車メーカーが
内製している
エンジン部品を
当社が生産



01 コネクティングロッド Connecting rod (35→42%)

トヨタ、三菱自、三菱ふそう
ダイハツ、CHR



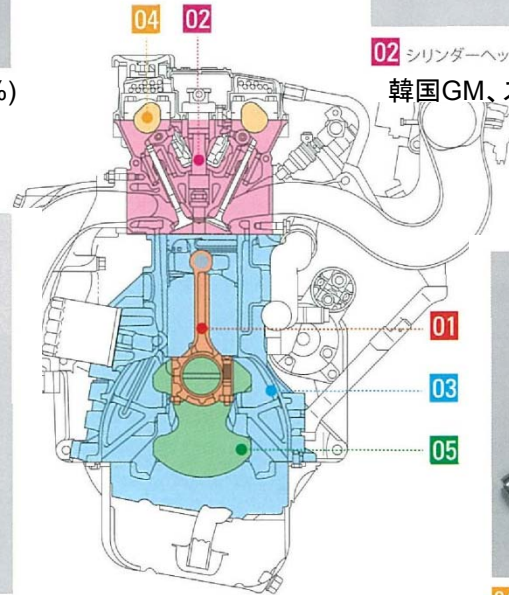
02 シリンダーヘッド Cylinder head (29→23%)

韓国GM、スズキ、クボタ、三菱重工、三菱自



03 シリンダーブロック Cylinder block (11→13%)

三菱重工、三菱自、スズキ、ダイハツ



その他(12→10%)



04 カムシャフト Camshaft (13→12%)

GMPT、GMHOLDEN、三菱自

エンジン内部に組み込まれる
部品の生産・加工

エンジンの性能、
機能を熟知

高品質、低コストの
製品づくりを提案

【主要取引先】

韓国GM、トヨタ自動車、三菱自動車、
GMPT、三菱重工業、ダイハツ、
三菱ふそうトラック・バス、クライスラー、
クボタ、GM HOLDEN、スズキ等

当社の事業領域

機械装置事業(工作機械)

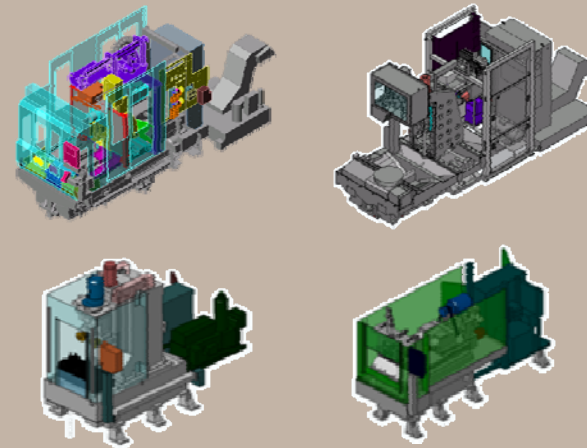


専用機の
豊富な経験から
標準機を開発

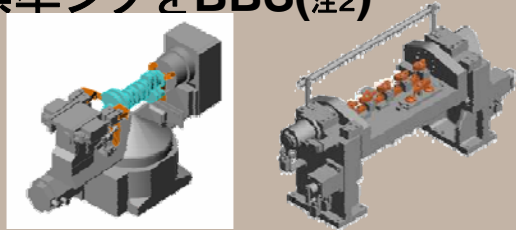
部品事業の
生技ノウハウを
開発、設計に
盛り込む

セルマシン(注1)で多くの実績

コンロッド、軸物(カムシャフト、
クランクシャフト)加工設備



標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは
国内外で高い評価

ターンキー受注に対応可能

低コスト、高品質の製品づくりを提案

注1: 工程特化型マシニングセンター

注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、ホンダ系など)
海外自動車メーカー(韓国、中国など)

- 13年3月期決算トピックス
- 事業概要
- **13年3月期決算概要**
- 14年3月期業績予想
- 中期経営計画の取組み



決算概要：セグメント別売上高・営業利益（連結）



【前年同期対比】

売上高の（ ）は構成比%

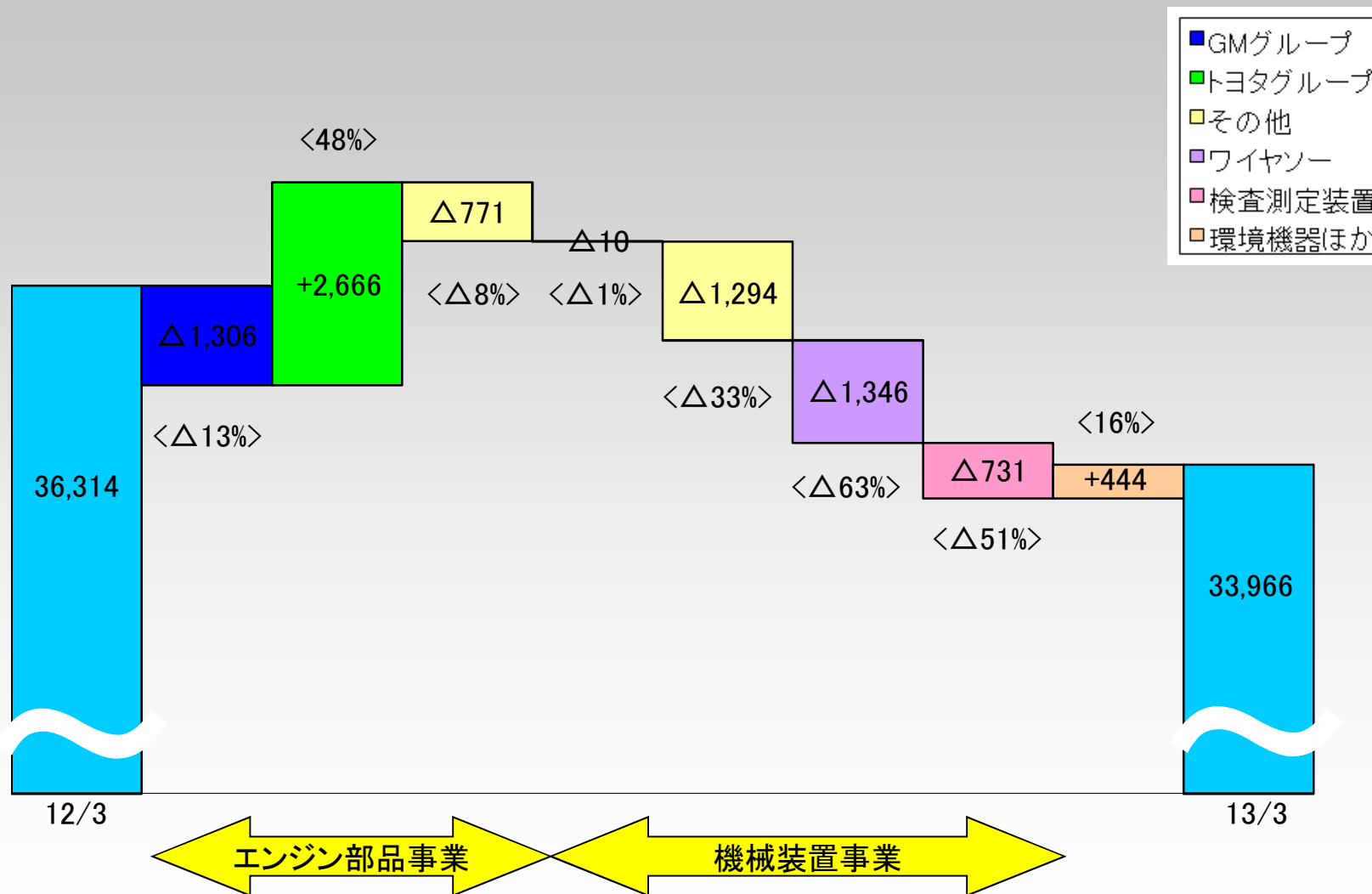
営業利益の（ ）は営業利益率%

	売上高			営業利益			売上増減理由
	12年3月期	13年3月期	対前年増減	12年3月期	13年3月期	対前年増減	
エンジン部品	25,085 (69.1%)	25,674 (75.6%)	589 (2.4%)	1,201 (4.8%)	1,362 (5.3%)	161 (13.4%)	<主要得意先別 売上比率> ・GMグループ 40.2% → 34.2% (△13.1億) ・トヨタグループ 22.0% → 31.9% (+26.7億) ・三菱グループ 10.5% → 8.7% (△4.0億) トヨタ +12.8億 韓国GM △12.6億 ダイハツ +8.4億 三菱自 △4.0億
機械装置	8,459 (23.3%)	5,077 (14.9%)	△ 3,381 (△40.0%)	△ 76 (△0.9%)	△ 1,863 (△36.7%)	△ 1,787 -	工作機械 △13.0億 ワイヤソー △13.5億 検査測定装置 △7.3億
環境機器 その他	2,769 (7.6%)	3,213 (9.5%)	444 (16.0%)	50 (1.8%)	168 (5.2%)	117 (233.4%)	<13年3月期> 安永クリーンテック 売上高 8.7億 営業利益 △0.4億
合計	36,314 (100.0%)	33,966 (100.0%)	△ 2,347 (△6.5%)	1,175 (3.2%)	△ 332 (△1.0%)	△ 1,507 -	

決算概要：連結売上高増減要因（得意先別）



（単位：百万円） < >は対前年伸び率



決算概要：販管費・営業利益・営業外・特別損益増減要因

【前年同期対比】
(単位：百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減率(%)	増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
売上高	36,314	100.0%	33,966	100.0%	△6.5%	△ 2,347
売上原価	31,595	87.0%	31,040	91.4%	△1.8%	△ 554
販管費	3,543	9.8%	3,257	9.6%	△8.1%	△ 285
営業利益	1,175	3.2%	△ 332	△1.0%	-	△ 1,507
営業外損益	△ 119	△0.3%	56	0.2%	-	176
経常利益	1,055	2.9%	△ 275	△0.8%	-	△ 1,331
税前当期純利益	1,017	2.8%	△ 280	△0.8%	-	△ 1,297
法人税等合計	134	0.4%	243	0.7%	80.8%	108
当期純利益	882	2.4%	△ 524	△1.5%	-	△ 1,406

《POINT》

(営業外収益)

為替差益	-	-	124	0.4%	-	124
------	---	---	-----	------	---	-----

(営業外費用)

支払利息	93	0.3%	106	0.3%	14.0%	13
為替差損	113	0.3%	-	-	-	△ 113

決算概要：貸借対照表の状況（連結）



【前年同期対比】

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	増減額
流動資産	18,193	17,341	△ 851
固定資産	12,204	12,427	222
資産合計	30,397	29,768	△ 628
流動負債	12,581	12,821	240
固定負債	6,878	6,417	△ 460
純資産	10,937	10,529	△ 408
負債・純資産合計	30,397	29,768	△ 628
有利子負債	10,119	10,956	837
自己資本比率	36.0%	35.4%	△0.6P
一株当たり純資産	914.27円	880.12円	△34.15円

主たる増減	
流動資産	
仕掛品	△ 877百万円
固定資産	
有形固定資産	+ 319百万円
流動負債	
短期借入金	+ 600百万円
固定負債	
長期リース資産減損勘定	△ 223百万円
長期借入金	△ 211百万円
純資産	
利益剰余金	△ 679百万円

決算概要：キャッシュ・フローの状況（連結）



【前年同期対比】

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 97	1,770	1,868
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,396	△ 2,365	1,031
財務活動による キャッシュ・フロー	3,366	682	△ 2,684
現金及び現金同 等物の増減額	△ 217	115	332
現金及び現金同 等物の期末残高	3,649	3,764	115

POINT (主たる要因)

営業活動によるCF	減価償却費	+ 2,021
	たな卸資産の減少	+ 1,185
	未払金の減少	△ 837
	売上債権の増加	△ 582
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 2,256
財務活動によるCF	有利子負債の増加	+ 837

- 13年3月期決算トピックス
- 事業概要
- 13年3月期決算概要
- **14年3月期業績予想**
- 中期経営計画の取組み



業績予想：2014年3月期売上高・利益の予想（連結）



（単位：百万円）

	13年3月期 通期	14年3月期（予想）			対前年 増減率
		上期	下期	通期	
売上高	33,966	14,650	15,350	30,000	△11.7%
営業利益	△ 332	200	390	590	—
（対売上比）	（△1.0%）	（1.4%）	（2.5%）	（2.0%）	
経常利益	△ 275	160	365	525	—
（対売上比）	（△0.8%）	（1.1%）	（2.4%）	（1.8%）	
当期純利益	△ 524	0	200	200	—
（対売上比）	（△1.5%）	（0.0%）	（1.3%）	（0.7%）	

業績予想：セグメント別売上高・利益の予想（連結）



売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	13年3月期	14年3月期 予想			13年3月期	14年3月期 予想		
	実績	上期	下期	通期	実績	上期	下期	通期
エンジン部品	25,674 (75.6%)	11,400 (77.8%)	10,950 (71.3%)	22,350 (74.5%)	1,362 (5.3%)	320 (2.8%)	315 (2.9%)	635 (2.8%)
機械装置	5,077 (14.9%)	1,750 (12.0%)	2,830 (18.5%)	4,580 (15.3%)	△ 1,863 (△36.7%)	△ 210 (△12.0%)	5 (0.2%)	△ 205 (△4.5%)
環境機器 その他	3,213 (9.5%)	1,500 (10.2%)	1,570 (10.2%)	3,070 (10.2%)	168 (5.2%)	90 (6.0%)	70 (4.5%)	160 (5.2%)
合計	33,966 (100.0%)	14,650 (100.0%)	15,350 (100.0%)	30,000 (100.0%)	△ 332 (△1.0%)	200 (1.4%)	390 (2.5%)	590 (2.0%)

- 13年3月期決算トピックス
- 事業概要
- 13年3月期決算概要
- 14年3月期業績予想
- 中期経営計画の取組み



第3次中期経営計画 (2011年度から2013年度)



本年度は、第3次中期経営計画の最終年度となりますが、韓国工場でのエンジン部品生産の立上げ遅れや太陽電池業界の市況悪化に伴うワイヤソーの販売低迷を主因に、数値目標は未達となる見込みです。

	2014/3	
	当初の目標	見込み
売上高	450億円	300億円
営業利益	30億円	5.9億円
営業利益率	6.7%	2%
自己資本比率	40%以上	36%程度
ROE	12%以上	2%程度



基本戦略

1. グローバルニッチNo.1

- 戦略製品の拡充 3C+2C ⇒ 2Cの新規受注決定
(カムシャフト、クランクシャフト)
- グローバル地域の拡充 ⇒
 - インドネシア工場 → 増産
 - 中国(山東) → 生産開始
 - 韓国工場 → 生産立上り
 - タイ工場 → 建設着工

2. 新事業の創出

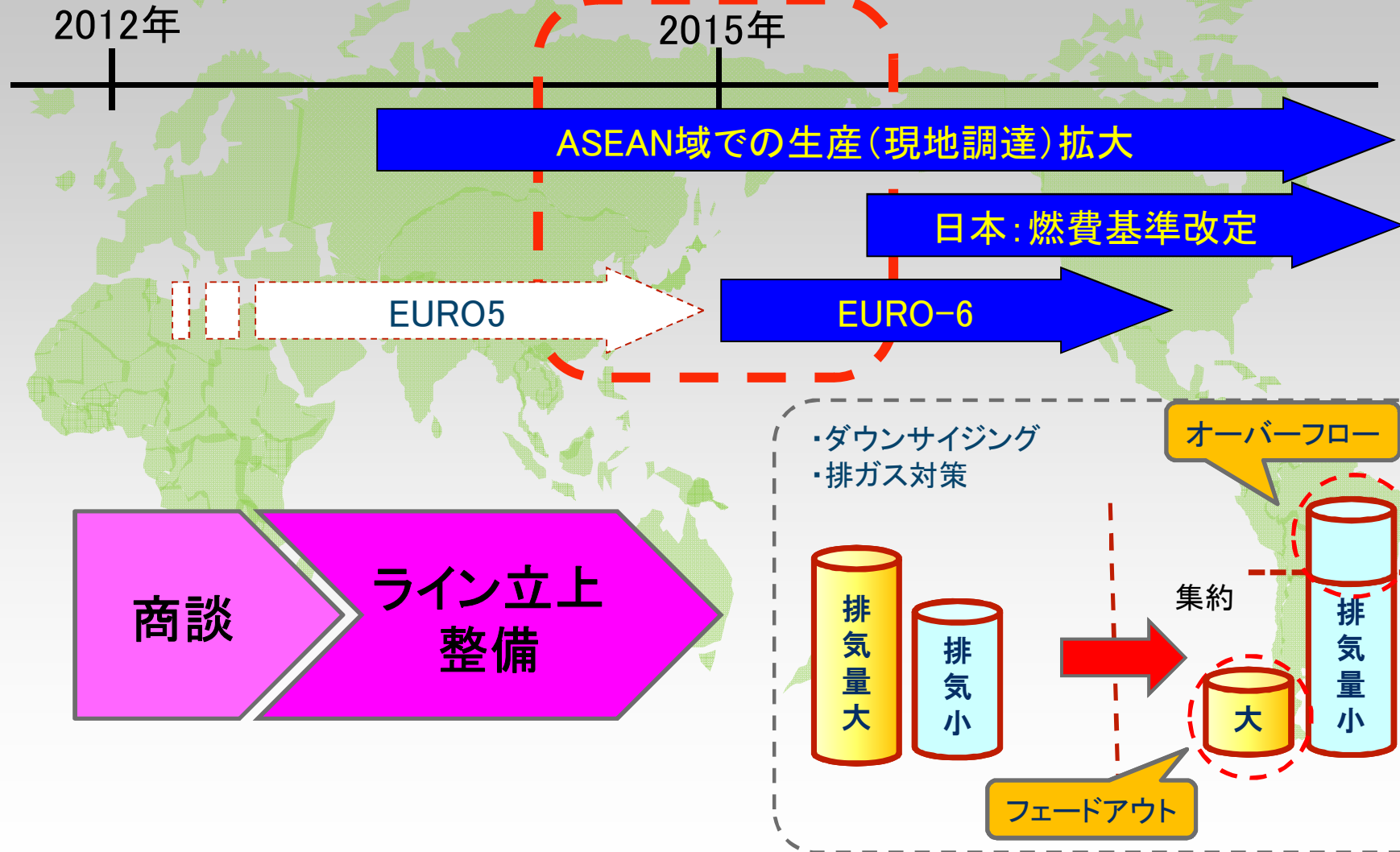
- 2011年4月 R&D本部新設 ⇒ 二次電池用装置の新製品
(新しい事業創出)

3. 財務体質の強化

- 財務体質の強化継続



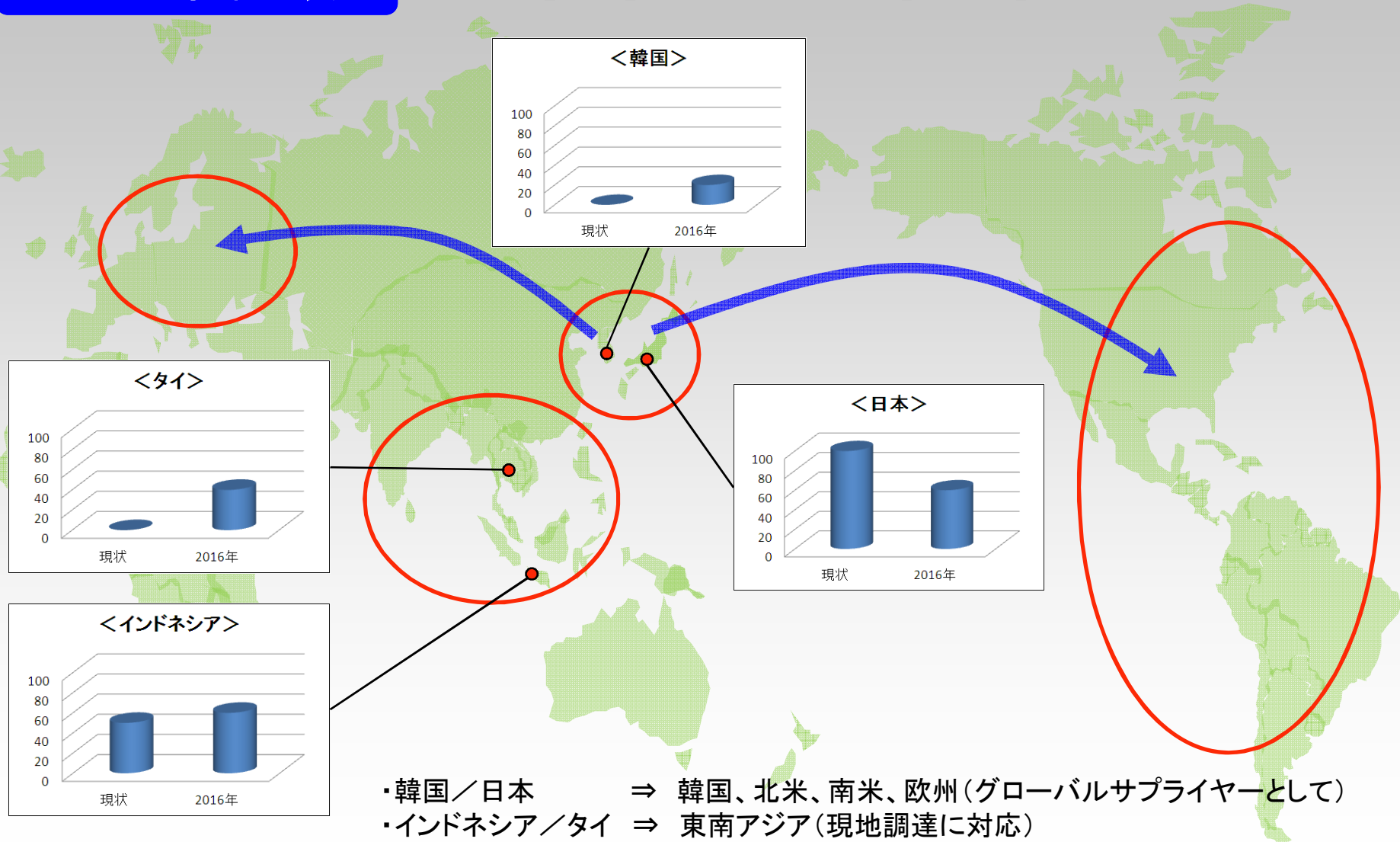
市場・業界動向から見たターゲット





コンロッド事業の展望

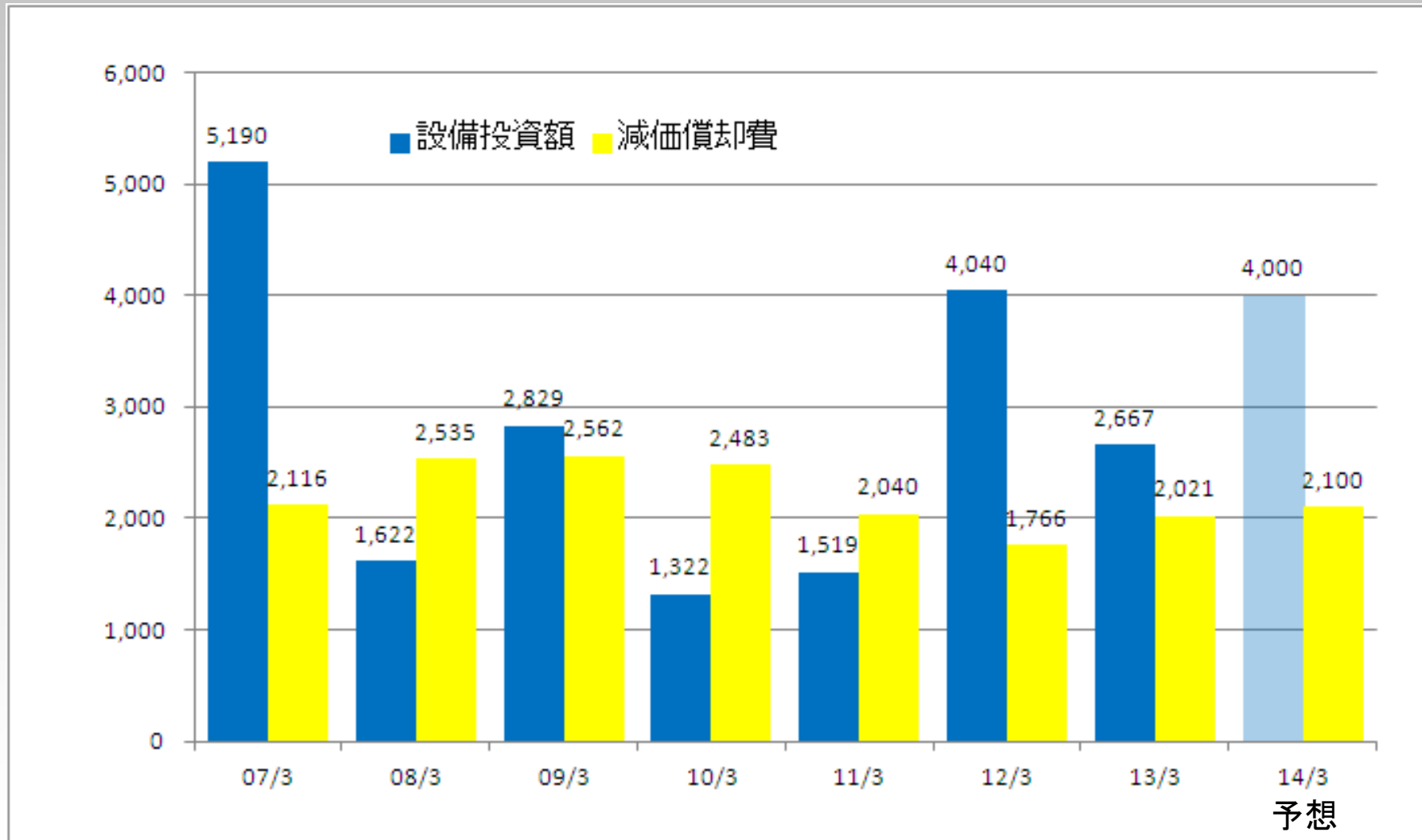
【現状】150万本/月 ⇒ 【2016年】180万本/月



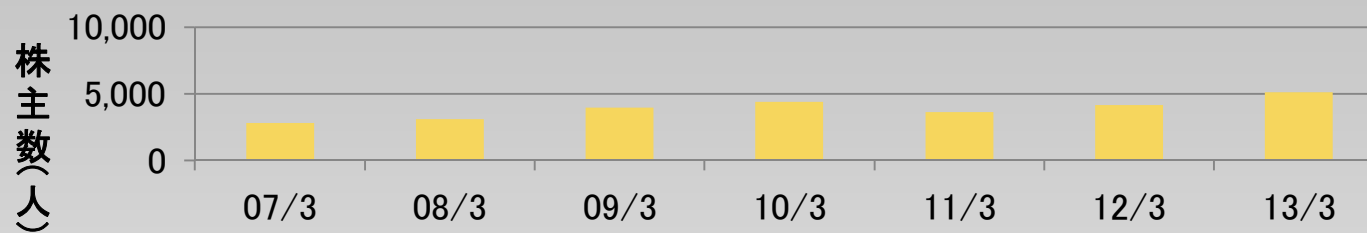
設備投資・減価償却費の推移



(単位:百万円)



1. 株主数の推移



2. 配当金の推移

■ 1株当たり年間配当金
 — EPSの推移

